

## 第三者評価結果報告書

### ①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

### ②施設・事業所情報

名称：新桜ヶ丘保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：指山順平	定員（利用人数）： 60名（59名）
所在地：〒240-0036 横浜市保土ヶ谷区新桜ヶ丘2-41-9	
TEL：045-351-6087	
ホームページ： <a href="https://www.shinsakuragaoka.com/">https://www.shinsakuragaoka.com/</a>	

### 【施設・事業所の概要】

開設年月日	2008年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）	社会福祉法人 相愛会		
職員数	常勤職員： 10名	非常勤職員：	13名
専門職員	保育士 15名	栄養士	1名
	調理師 2名		
施設・設備 の概要	(居室数)	(設備等)	
	保育室3室、事務室1室（医務室兼務）、調理室1室、職員休憩室、予備室		

### ③理念・基本方針

#### 法人理念

子どもが幸せな社会の中でいきいきと成長していけるように、子どもの最善の利益を追求し、地域福祉の中心的役割を果たす

#### 法人保育理念

『いきいき子を育てる』

#### 園目標

『幸せに生きていく力を育む』

- ・自ら考え、学び、行動し、結果を受け止めることができるひとへ
- ・自分の中の「楽しい」「やりたい」の気持ちを大切にできるひとへ
- ・失敗は成功のもと、失敗したっていい、たくさんの体験を積めるひとへ
- ・様々な違いを理解し、受け入れ、自分も周りも尊重できるひとへ

### ④施設・事業所の特徴的な取組

子どもたちが選択できる環境を目指しています。魅力的な環境を用意し、子どもたちが自主的に遊びを選択していく環境を作り、子どもたちの能動的な選択経験を増やし、『能動的に動いた結果、面白い体験ができた』という経験を積み重ねたいと考えています。同じ楽しいことでも、誰かが与えてくれる楽しい経験ばかりでは『今日はどうやって私を楽しませてくれるの？』『楽しいことを用意してくれなかったから私はつまらない思いをしている』というように受け身の考え方が根付き、【周りが自分を楽しませてくれる成長させてくれる】【自分が不幸なのは周りが悪いから、自分は悪くない】と考えるようになっていきます。それは私達が目指す幸せに生きていく力と正反対のものになります。自分で自分の人生を楽しませられるよう、自分の意思で自分の行動を決めるといった経験を少しでも多く積み重ねさせて、それを考え方のベースにすることを目的としています。

## ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年5月2日（契約日）～ 2022年10月18日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	3回（2017年度）

### 【事業所の概要】

新桜ヶ丘保育園は、JR横須賀線「東戸塚」駅、または相鉄線「二俣川」駅から、相鉄バスに乗り、「新桜ヶ丘保育園」バス停下車、3分ほど歩いた住宅地の中にあります。園は、昭和52年（1977年）8月、横浜市により開設され、平成20年（2008年）4月、社会福祉法人相愛会に民間移管されました。運営法人は、他に横浜市で2園保育園を運営するほか、長崎県や東京都で保育園や学童クラブを複数運営しています。施設は、鉄骨造平屋建てで、保育室・調理室・事務室などがあります。園庭には、すべり台やアスレチック、くぐって通り抜けられるコンクリート管が設置された築山などが備えられています。片隅のプランターでは子どもたちが野菜を育てています。定員は60名（0歳児～5歳児）、開園時間は、平日、土曜日とも7時～20時です。

## ⑥総評

### ◆特長や今後期待される点

#### 【特長】

#### ・子ども主体の保育が実践されていて、子どもたちはのびのびと園生活を楽しくしています

園は、子どもたちが自ら考え、行動できることを大切に、保育しています。保育室には、年齢に合わせたおもちゃや絵本、素材が子どもの手の届くところに並べられ、棚やテーブルなどを用いたコーナーが用意されていて、子どもが自分で好きな遊びを選択し、遊べるように環境設定されています。一斉活動においても、複数の活動を呈示するなど、子どもが自ら選べるようにしています。子どもたちは、友だちと紙で様々なものを作ったり、ブロックの作品を使ってごっこ遊びをしたり、一人でゆっくりとお絵描きをしたり、園庭で思いっきり身体を動かしたりと、それぞれが好きなことを選び、遊びこんでいます。幼児は、食事の時間も一斉ではなく幅を持たせ、活動内容によって時間を調整したり、遊びを継続したりできるようにしています。自由遊びの時間には、年齢の枠を超えて好きな遊びをしていて、お互いに学びあっています。観察時にも、年上の子どもが年下の子どもにさりげなく「危ないよ」と注意したり、乳児がいると走る速さを調整する姿もあり、一緒に活動する中で思いやりの気持ちも育っています。

#### ・職員は、子どもに寄り添い、子どもの成長をともに喜んでいきます

保育士は、子どもの言葉やつぶやき、態度などを観察し、小さな発見も見逃さないように努め、子どもの気持ちに寄り添い、やりたいことを一緒に行い、発見を楽しんだり、できたことをともに喜んだりしています。保育士は、子どもが自分で好きなことを見つけ、やり方を考えたり、試したりしてできるよう見守りの姿勢を基本にし、環境を整えたり、声掛けしたりと必要な支援をしています。保育士間で声を掛け合い、お互いの立ち位置や動きを調整し、それぞれの子どもが安心・安全に遊びこめるようにしています。日々のクラスでの話し合いや毎月の乳児・幼児会議では、子どもの姿を共有し、その時の子どもの興味や関心に合わせた保育が実践できるように、遊びや活動、環境の見直しをし、子ども主体の保育が実践できるようにしています。

#### ・迅速に対応・情報提供することで、保護者との信頼関係を構築しています

園では、保護者が園の取り組みを理解し、安心して預けられるよう、保護者支援に力を入れています。園のしおりや毎月の園だよりにより園の方針を分かりやすく掲載し、保護者に伝えていきます。送迎時のコミュニケーションや連絡帳、年1回の懇談会、保育参加と個人面談（コロナ禍のため現在は希望者のみ）などを行っています。現在保護者は保育室内に入れなため、保育室のベランダに写真や子どもたちの書いた保育の様子などを掲示するなど工夫しています。また急ぎの連絡方法として保護者向けのSNSを活用していて、例えばコロナ禍における対応はその都度素早く知らせ、運営・安全面の事柄は何か起こった時にはその日のうちに誠意をもって状況説明をするなど、迅速に対応・情報提供することが、信頼関係につながっています。このような取り組みの結果、今回の保護者アンケートでの保護者の満足度が高くなっています。

### 【今後に期待される点】

#### ・職員が将来の見通しをもって働けるよう、人材育成計画を作成することが期待されます

園では、子どもと応答的に対応し、目指す保育を実現するためには、人間性が大切であるとし、人間性の向上に向けて取り組むことが質の向上につながるとしています。ただし、昇進や昇格、評価などの基準などを明確にし、経験や職務、能力などに応じた期待水準や必要な研修等を定めた人材育成計画を作成するまでには至っていません。また、職員は毎年、自己評価表を用いて保育の自己評価をしていますが、それをもとに、年度の目標設定をして進捗状況の確認や達成度の評価をするまでには至っていません。職員が将来の見通しをもって働けるような人材育成の仕組みを構築し、明文化していくことが期待されます。

### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

この度の第三者評価を通して、園として・職員個人として振り返りの機会を設けていただき、本当にありがとうございました。

今回の評価で『今後に期待される点』として、人材育成の仕組みづくりが挙げられていますが、当園の大きな課題の一つであると感じています。評価員の方々に様々助言をいただき、保育士自己評価の少々の変更から、職員へ求める姿を定め、その姿へ向かうための学習や取り組みを進めていくという具体的な形をイメージすることが出来ました。現時点ではまだ作成途中ではありますが、ここから人材育成の形を園として、法人としてしっかりと形成していきたいと思えます。

保育の評価については、私達が目指している子ども達が自発的に自分の行動を考え選択できる環境というものを評価していただくことができ、非常に励みになりました。その中でも『この園の子達は明るくよく喋る』と評していただけたことが個人的にはとても嬉しく感じました。今後も子ども達がリラックスをして一日を過ごし、子ども達が楽しいことをたくさん見つけていける保育園を目指していきたいと思えます。

最後になりますが、お忙しい中アンケートにご協力いただきました保護者の皆様に感謝申し上げます。ここ三年間ほどの厳しい情勢の中でも、変わらず子ども達を見守ってくださることで子ども達は今も『明るくよく喋る』ことが出来ているのだと思えます。これからも子ども達の育ちを一緒に見守らせていただき、微力ながらもサポートができればと思えます。

この度は貴重な機会をいただき本当にありがとうございました。今回評価に関わって下さった皆様に厚く御礼申し上げます。

新桜ヶ丘保育園

園長 指山 順平

### ⑧第三者評価結果

別紙2のとおり